

卒業演習(西洋史1)－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-426
選択必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

古代・中世・ルネサンスに関する古典的な著作ないし最近の研究書を取り上げ、その読解と発表、討論を通じて歴史的思考力を鍛える。

使用する著作は各時代につき5～6冊。受講生は異なる時代から各1冊、計2冊の本を選び、1冊を前半と後半に分けて発表する。よって発表の機会は計4回となる。1回の授業で3人に発表を割り当てる。発表が当たっていない者は、必ず質問または意見を述べること。

取り上げる予定の著作は次の通り(MELICないし研究室で借りるか、自分で購入すること)

古代:「戦争の起源」「アルシノエ2世」「通商国家カルタゴ」「ガリラヤからローマへ」「新約聖書の誕生」「ローマ帝国の崩壊」

中世:「カール大帝」「中世都市」「ハーメルンの笛吹き男」「ビザンツ 幻影の帝国」「ビザンツ文明の継承と変容」「中世イタリア商人の世界」

ルネサンス:「12世紀のルネサンス」「ペトラルカ」「ルネサンスの文化と社会」「ルネサンス再考」「ヴェネツィア」

2. 授業の到達目標

テキストを正確に読み取り、適切に要約できること

自分なりの論点を設定して解釈をまとめ、発表ができること

以上を通じて日本語の総合的な運用能力を高めること

3. 成績評価の方法および基準

規定された回数の発表を全部行なうこと

全体討論で積極的に質問や意見を出すこと

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

自分が担当する発表の準備をきちんと行うこと

6. その他履修上の注意事項

一度も発言しなかった者は欠席扱いとする

夏休みに読書の宿題を出す

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション
本の選定と第1回発表の割り当て |
| 【第2回】 | 古代史研究書の発表と討論(1) |
| 【第3回】 | 古代史研究書の発表と討論(2) |
| 【第4回】 | 古代史研究書の発表と討論(3) |
| 【第5回】 | 古代史研究書の発表と討論(4) |
| 【第6回】 | 中世史研究書の発表と討論(1) |
| 【第7回】 | 中世史研究書の発表と討論(2) |
| 【第8回】 | 中世史研究書の発表と討論(3) |
| 【第9回】 | 中世史研究書の発表と討論(4) |
| 【第10回】 | 発表予備日・中間総括 |
| 【第11回】 | ルネサンス史研究書の発表と討論(1) |
| 【第12回】 | ルネサンス史研究書の発表と討論(2) |
| 【第13回】 | ルネサンス史研究書の発表と討論(3) |
| 【第14回】 | ルネサンス史研究書の発表と討論(4) |
| 【第15回】 | 発表予備日・総括討論 |